

# 1学年 国語科

## 1年間の学習内容とねらい

国語の目標
① 言葉によって思考を深め、言葉に対する感覚を磨く
② 基礎教科としての基礎・基本の習得を重視する
③ 生活と結びつけた有機的な言語活動を組織する

評価の観点・方法
国語科は以下の4つの観点で評価します。
①「知識及び技能」 ・漢字や文法を正しく理解できているか ・話や文章の種類とその特徴について理解を深められているか ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使用しているか ・古典の知識を正しく理解したり引用したりすることができるか
②「思考、判断、表現」 ・相手や場に応じて適切に話したり聞いたりすることができるか ・表現の仕方を考えたり自分の考えが相手に伝わるように文章を書く工夫をしているか ・構成や筆者の主張、登場人物の心情などを捉えながら文章を読むことができるか
③「学びに向かう力、人間性等」 ・言語文化に親しもうとしているか ・思いや考えを伝え合おうとしているか

特色ある学習方法
○「話すこと」 「聞くこと」 「書くこと」 「読むこと」をバランスよく授業に取り入れ、ついでいくことで、将来的に生きて働く言葉の力を養う。 ○毎授業の初めに漢字学習を行うことで言語についての知識・技能を高める。 ○言語活動を充実させ、主体的、対話的で深い学びにつなげていく。 ○学習者用端末を積極的に利用することで、表現の幅を拡げ、言葉や物事の理解を深めていく。

学習内容		学習のねらい
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業オリエンテーション</li> <li>・「朝のリラクゼーション」</li> <li>・「言葉に出会うために」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律とルール作り</li> <li>・表現の違いを味わい楽しむ</li> <li>・アグセプトなどを工夫しながら音読する</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじまりの風」</li> <li>・「音声の仕組みや動き」</li> <li>・「漢字の組み立てと部首」</li> <li>・「タココンは大きな根？」</li> <li>・「ちよっと立ちまっつて」</li> <li>・硬筆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心情や行動を表す言葉に注意して読む</li> <li>・日本語の特徴を学び、日常に生かす</li> <li>・段落の役割に着目して、文章の内容を捉える</li> <li>・書写の能力の基礎を養う</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「空の詩 三編」</li> <li>・「さまざまな表現技法」</li> <li>・「比喩で広がる言葉の世界」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを明確にしてスピーチする</li> <li>・内容や表現を味わいながら読む</li> <li>・「比喩」の定義や種類を理解し、自分でも使えるようにする</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指示する語句と接続する語句」</li> <li>・「語彙を豊かに」</li> <li>・「読書を楽しむ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッピングを使って言葉を集め、比較する</li> <li>・読書に親しむ態度を養う</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大人になれなかった弟たちに」</li> <li>・「星の花が降るころに」</li> <li>・「聞き上手になろう」</li> <li>・「項目を立てて書こう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心情の行動や変化を捉える</li> <li>・場面や人物の描写に着目して作品を読み深める</li> <li>・語を引き出す質問を意識する</li> <li>・相手意識、目的意識をもって文章を書く</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「方言と共通語」</li> <li>・「漢字の音訓」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による言葉の違いを理解する</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を明確にして書こう</li> <li>・「大阿蘇」</li> <li>・「いらは歌」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠を示しながら筋道を立てて書く</li> <li>・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「竹取物語」</li> <li>・「今に生きる言葉」</li> <li>・書きぞめ</li> <li>・2学期の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読をして古典に親しむ</li> <li>・仮名と漢字の調和</li> <li>・2学期の学習をまとめ</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『不便』の価値を身につめ直す」</li> <li>・文法(文節どうしの関係、品詞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の主張を読み取り、要約する</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「少年の日の思い出」</li> <li>・漢字の成り立ち</li> <li>・話し合いの進め方について考えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や表現の効果に着目して作品を読み深める</li> <li>・言語文化の理解を深め、自ら使っていく態度を養う</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動(随筆・詩・かるた等)</li> <li>・1年間の学習を振り返りまとめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な形で自分が表現したいものを創る</li> <li>・1年間の学習を振り返る</li> </ul>

## 2学年国語科

<ul style="list-style-type: none"> <li>① 言葉によって思考を深め、言葉に対する感覚を磨く</li> <li>② 基礎教科としての基礎・基本の習得を重視する</li> <li>③ 生活と結びつけた有機的な言語活動を組織する</li> </ul>
---

評価の観点・方法
<p>国語科は以下の4つの観点で評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「知識及び技能」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字や文法を正しく理解できているか</li> <li>・話や文章の種類とその特徴について理解を深められているか</li> <li>・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使用しているか</li> <li>・古典の知識を正しく理解したり引用したりすることができているか</li> </ul> </li> <li>②「思考、判断、表現」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や場に応じて適切に話したり聞いたりすることができているか</li> <li>・表現の仕方を考えたり自分の考えが相手に伝わるように文章を書く工夫をしているか</li> <li>・構成や筆者の主張、登場人物の心情などを捉えながら文章を読むことができるか</li> </ul> </li> <li>③「学びに向かう力、人間性等」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・言語文化に親しもうとしていいるか</li> <li>・思いや考えを伝え合おうとしているか</li> </ul> </li> </ul>

特色ある学習方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」をバランスよく授業に取り入れられていくことで、将来的に生きて働く言葉の力を養う。</li> <li>○毎授業の初めに漢字学習を行うことで言語についての知識・技能を高める。</li> <li>○言語活動を充実させ、主体的、対話的で深い学びにつなげていく。</li> <li>○学習者用端末を積極的に利用することで、表現の幅を拓げ、言葉や物事の理解を深めていく。</li> </ul>

## 国語科 1年間の学習内容とねらい

学習内容		学習のねらい
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業オリエンテーション</li> <li>・「見えないだけ」</li> <li>・「アリスアラネット」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業起立とルール作り</li> <li>・言葉が持つ価値を認識する</li> <li>・登場人物の設定のしかたを捉える</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「クワゼミ増加の原因を探る」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見や根拠の適切さを評価し、検討する力を養う</li> <li>・古典から、作者のものの見方や考え方を捉える</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文法への扉1」(単語・活用の有無)</li> <li>・「情報を整理して伝えよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横書きの技術を身につける</li> <li>・文の成分を理解する</li> <li>・複数の情報から適切な情報を得て、内容を解釈する</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「短歌に親しむ」(短歌を味わう)</li> <li>・「類義語・対義語・多義語」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌の構成や表現の効果について考えることができる</li> <li>・類義語等の意味を理解する</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒューマンノイド」</li> <li>・「字のない葉書」</li> <li>・「敬語」</li> <li>・「表現を工夫して書こう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動の意味を考える</li> <li>・表現の効果に着目して読み、考えを交流する</li> <li>・敬語の働きを理解し、文章の中で利用する</li> <li>・言葉遣いに気を付けて御礼の手紙を書く</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「モアイは語る」</li> <li>・「適切な根拠を選んで書こう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報と情報の関係について理解する</li> <li>・根拠の適切さを考えて説明する</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「立場を尊重して話し合おう」</li> <li>・「層的」</li> <li>・「仁和寺にある法師」</li> <li>・「漢詩の風景」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる立場や考えを想定しながら伝え合う</li> <li>・作品と特徴を活かして朗読する</li> <li>・古典に表れたものの見方や考え方を知る</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「君は最後の晚餐を知っているか」</li> <li>・「書きそめ展覧会作品作成」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの文章を比較し、共通点や相違点を整理する</li> <li>・行書の特徴を活かして作品を仕上げる</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「走れメロス」</li> <li>・「文法への扉」(「活用形」と「活用の種類」)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や経験と結びつけて読み、考える</li> <li>・単語の活用を理解する</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「文法への扉3(助詞)」</li> <li>・描写を工夫して書こう</li> <li>・「鍵」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助詞について理解する</li> <li>・描写を工夫して物語を書く</li> <li>・詩を読み味わい、作者のものの見方について語り合う</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動(随筆・研究論文)</li> <li>・一年間の学習を振り返りまとめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らテーマや学習課題を考え、その創作や解決に向かって学習を進める</li> <li>・一年間の学びを振り返る</li> </ul>

### 3学年 国語科

### 1年間の学習内容とねらい

国語の目標
① 言葉によって思考を深め、言葉に対する感覚を磨く
② 基礎教科としての基礎・基本の習得を重視する
③ 生活と結びつけた有機的な言語活動を組織する

評価の観点・方法
国語科は以下の4つの観点で評価します。
①「知識及び技能」 ・漢字や文法を正しく理解できているか ・話や文章の種類とその特徴について理解を深められているか ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使用しているか ・古典の知識を正しく理解したり引用したりすることができているか
②「思考、判断、表現」 ・相手や場に応じて適切に話したり聞いたりすることができているか ・表現の仕方を考えたり自分の考えが相手に伝わるように文章を書く工夫をしているか ・構成や筆者の主張、登場人物の心情などを捉えながら文章を読むことができているか
③「学びに向かう力、人間性等」 ・言語文化に親しもうとしていいるか ・思いや考えを伝え合おうとしているか

特色ある学習方法
○「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」をバランスよく授業に取り入れ、していくことで、将来的に生きて働く言葉の力を養う。 ○毎授業の初めに漢字学習を行うことで言語についての知識・技能を高める。 ○言語活動を充実させ、主体的、対話的で深い学びにつなげていく。 ○学習者用端末を積極的に利用することで、表現の幅を拡げ、言葉や物事の理解を深めていく。

	学習内容	学習のねらい
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業オリエンテーション</li> <li>・「世界はうつくしいと」</li> <li>・「握手」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律とルール作り</li> <li>・文章の展開のしかたを捉える</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「論語」</li> <li>・「作られた『物語』を越えて」</li> <li>・硬筆</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような視点で意見の適切さを判断すべきかを考える</li> <li>・構成を考え、スビッチに生かす</li> <li>・論語に見られる考えを味わい、生活に生かす態度を養う</li> <li>・論理の展開を捉え、主張を読み取る</li> <li>・書写の能力の基礎を養う</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「熟語の読み方」</li> <li>・「文法を生かす」</li> <li>・「俳句の可能性」</li> <li>・「俳句を味わう」</li> <li>・「言葉の釣り糸を垂らす」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音訓とその組み合わせを理解する</li> <li>・言葉の特徴を考え、生活に生かそうとする態度を養う</li> <li>・内容や表現を味わいながら読む</li> <li>・俳句の特徴について理解を深める</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「報道文を比較して読もう」</li> <li>・フットボールをしよう</li> <li>・1学期の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記事を比較して表現や伝わり方の違いを考える</li> <li>・読書に親しむ態度を養う</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶」</li> <li>・「故郷」</li> <li>・「慣用句・ことわざ・故事成語」</li> <li>・「楳点の意見を読んで考えよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩に用いられる表現に着目して文脈の中での意味を捉える</li> <li>・小説を批評する</li> <li>・文章を比較して、討論する</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えを効果的に伝えよう」</li> <li>・「話し合いを効果的に進める」</li> <li>・「古今和歌集」「万葉集」「新古今和歌集」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多角的に分析して批評文を書く</li> <li>・時代背景を理解しながら読む</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏草」</li> <li>・「それでも、言葉を」</li> <li>・「各意形成に向けて話し合おう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方や考え方に触れる</li> <li>・言葉との向き合い方を考える</li> <li>・課題解決に向けて話し合う力を養う</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書きぞめ</li> <li>・文法のまとめ</li> <li>・2学期の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名と漢字の調和</li> <li>・2学期の学習をまとめる</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「温かいスーパ」</li> <li>・「アラスカとの出会い」</li> <li>・「律儀な桜」「わたしを束ねないで」</li> <li>・入試対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のもつ力や人と人とのつながりについて考えを深める</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試対策</li> <li>・1年間の学習を振り返りまとめよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試を意識した実践的な学習を行う</li> <li>・1年間の学習を振り返る</li> </ul>